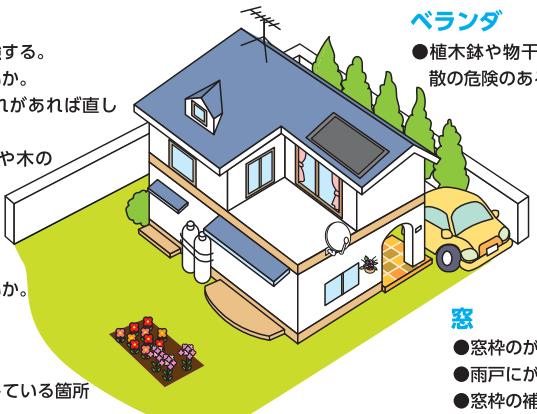


洪水・風水害

家の点検・整備をしましょう

屋根・雨どい

- 不安定なアンテナは補強する。
- トタンがめくれていないか。
- 瓦のひび・割れ・はがれがあれば直しておく。
- 雨どいにたまつたゴミや木の葉を取り除いて雨水の排水をよくする。



ベランダ

- 植木鉢や物干しざおなど、落下や飛散の危険のあるものはかたづける。

板塀

- 板塀に腐りや浮きはないか。
- 板塀には支柱を立てる。

ブロック

- 傾きやひび割れ、破損している箇所はないか。
- できれば安全な生け垣などにする。

その他

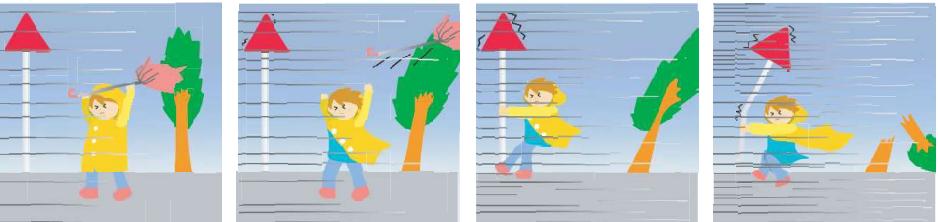
- プロパンガスのボンベは鎖でしっかりと固定する。
- 商店などでは看板のぐらつきにも注意する。
- ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定する。
- 庭木にはそえ木をしておく。
- マンションなどでは窓ガラスにガムテープを貼る。

雨の降り方と災害の目安

1時間雨量 (mm)	10~20	20~30	30~50	50~80	80以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
降り方の イメージ	ザーバーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。 (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
浸水害・洪水災害の発生状況	この程度の雨でも長く続くと注意が必要	道路側溝や水路、小さな川があふれる	下水道管が雨水で一杯になり、水が流れず、あふれる	マンホール蓋から水が噴出する	大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な注意が必要
土砂災害の発生状況	小規模のがけ崩れが始まる	がけ崩れ、地すべりが起きやすい	土石流が起こりやすい		

風の強さと吹き方

10m 以上~15m 未満	15m 以上~20m 未満	20m 以上~25m 未満	25m 以上~
風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	何かにつかまつて立つていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。



避難する際の注意点

避難する前に

避難する前に、電気ブレーカーを落とし、火元を消し、避難所を確認しましょう。また、家族・親戚や知人に避難することを連絡しておきましょう。

動きやすく安全な格好、2人以上で避難

避難する時は動きやすい格好で、2人以上、近所の方に声を掛け合ってなるべく集団で避難しましょう。



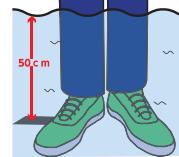
履物に注意する

ひもで固定できる運動靴が最適です。長靴は浸水が深いと中に水がたまり動きにくくなります。



歩ける深さに注意する

歩ける深さは膝の高さくらいです(約50cm)です。水の流れが速ければ20cm程度でも危険です。無理をせず、高所で救助を待ちましょう。



足元に注意

水の中にはマンホールや側溝など、危険なものがあるので杖などの長い棒を使って足元を確認しながら進みましょう。



垂直避難

屋外への避難が危険と判断した場合は、自宅の上階階や2階以上に避難しましょう。



お年寄りや身体の不自由な人、小さな子どもを優先する

お年寄りや身体の不自由な人、まだ体力のない小さな子どもは背負うなどして一緒に避難しましょう。

